

手軽なWEBサイト構築のための インフラ選定について

IBMユーザー研究会
岡山T1チーム



研究の目的

- WEBサイトを手軽に、しかも簡単に構築することを目的とした場合に、現在どんなインフラが利用できるのかを調査しました。



インフラ選定の基準



今回の選定基準です。

- ① サーバーサイドの処理がない静的サイトを構築
- ② 構築への手間があまりかからない
- ③ 初期費用・運用費用が抑えられる
- ④ WEB固有知識の習得の敷居が低い
- ⑤ チームで共有・運用がし易い
- ⑥ サイトの改修やアップロードが手軽に行える



候補①

◆Dropbox + ホスティングサービス利用

クラウドストレージサービスのDropbox上にWEBサイト構築が可能となるサービスを利用。

ローカルのファイルをDropboxのフォルダに配置することで、Dropboxサーバーに同期が走りWEB上に公開されます。ホスティングサービスアプリがWEBサーバーの代わりとなり、保存先のDropbox内のファイルがブラウザ上からhttpにてアクセスできるようになる感覚です。

ただし、無料枠には転送容量の制限があるため、画像を多用したサイトや大規模WEBサイト向けではありません。アカウント作成のみで利用可能です。

※参考サイト

<http://hitoxu.com/01638>

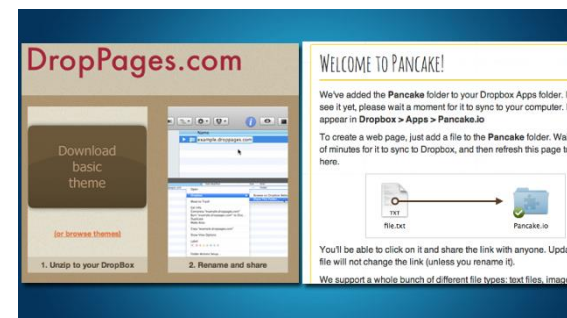
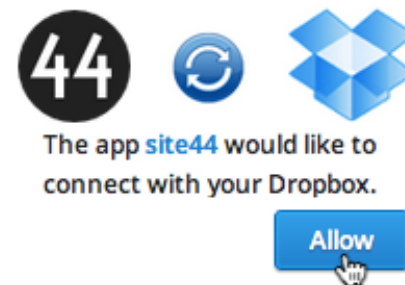
<http://www.lifehacker.jp/2011/11/111122droppagespancakeio.html>

<http://developer.cybozu.co.jp/akky/2011/11/pancakeio---dro-8352/>

※ホスティングサービス

- site44 (<http://www.site44.com/>)
- DropPages (<http://droppages.com/>)
- Pancake.io (<http://pancake.io/>)

IBMユーザー研究会 岡山T1チーム





補足1: Dropbox



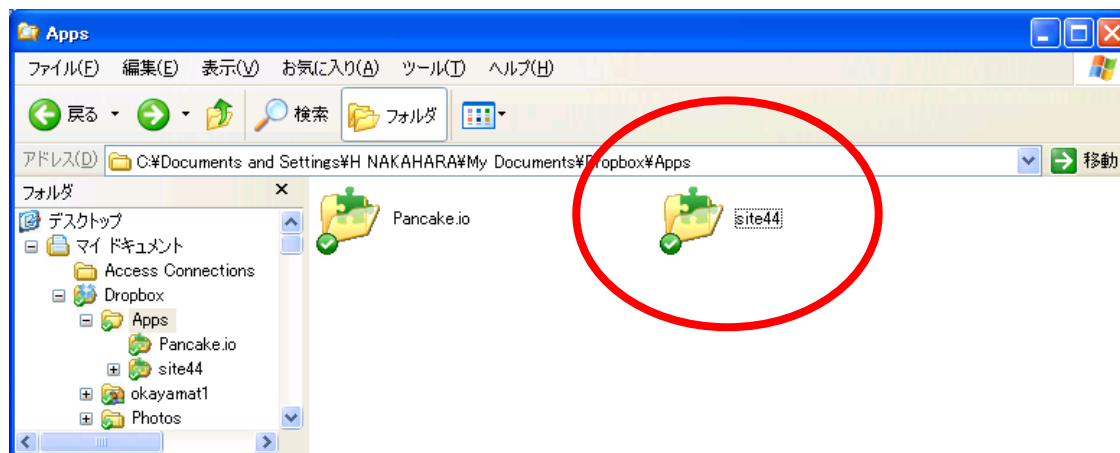
- 様々なデータやファイルをWeb上に保存できるオンラインストレージサービス。
- 媒体に同期をとるためのフォルダをローカルに作成することが可能。ローカルのファイルを編集するとDropboxに反映され、同期がとられる。
- 2GBまでは無料で提供されており、他のアカウントとファイルの共有が可能。



補足2: site44

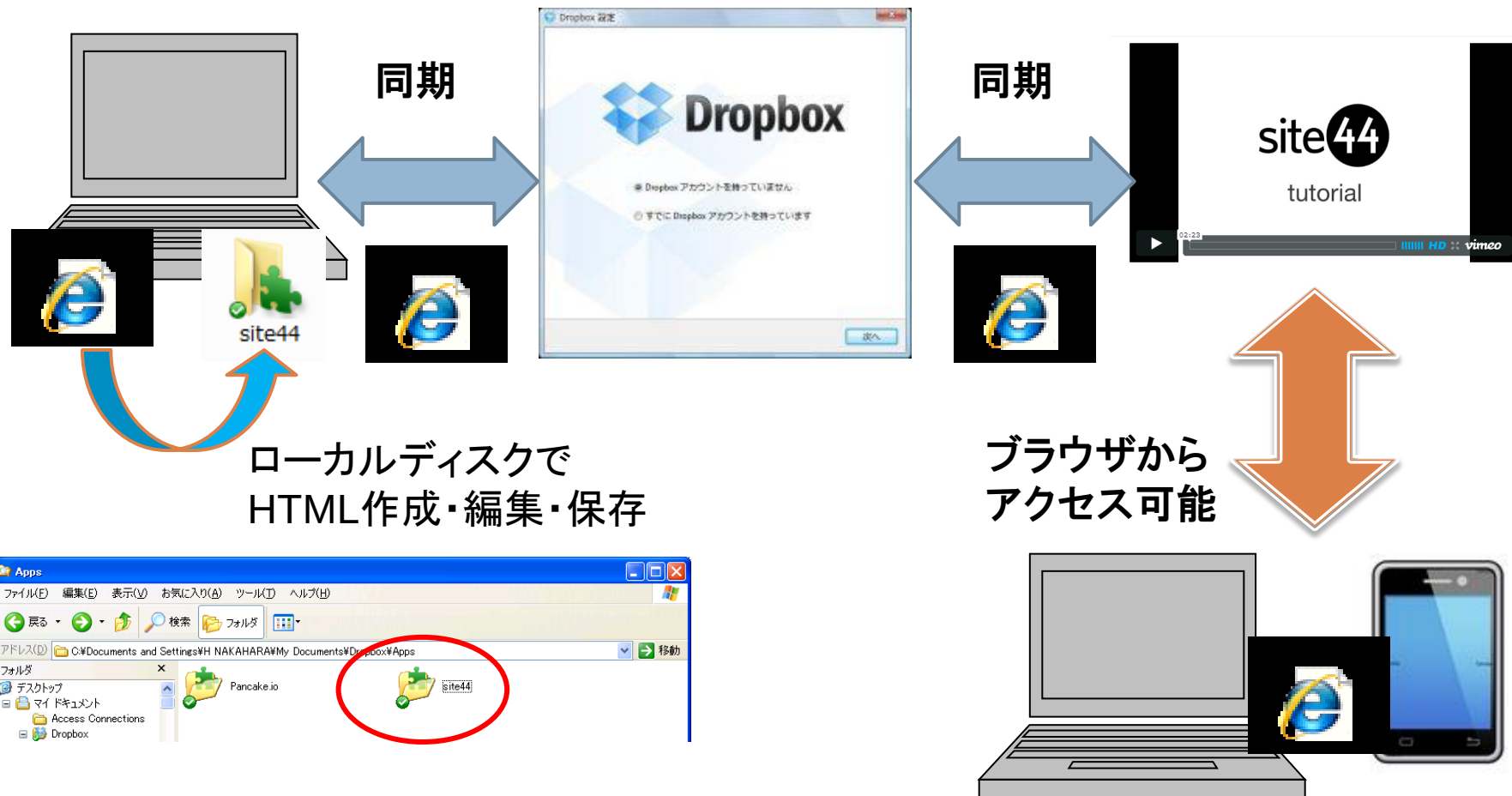


- Dropboxアカウントを使ってウェブサイトが作れるサービス。
- Dropbox上にsite44と同期がとれるフォルダが作成されるため、公開が容易。





補足3: データの関係





候補②

◆ Amazon S3 (AWS)

クラウドストレージサービスのAmazon S3(Amazon Simple Storage Service)上にWEBサイトの構築が可能。

先のDropboxを利用するものと同様な構造ですが、こちらは、本サービスでホスティング機能も兼ね備えているため簡潔です。

クラウド上の機能が多い分、WEB上の細かい設定が可能で、レンタルサーバーライクな使用が可能です。その分、構築、運営には固有の知識が必要になります。

本格的なサイトや大規模サイトの構築も可能ですが、使った分、課金されるモデルなため、アカウント作成時はクレジットカードの登録を求められます。(無料枠あり)

※参考サイト

<http://www.awsmicrosite.jp/s3-hosting/>

http://aws.typepad.com/aws_japan/2012/08/hosting-website-on-s3.html

<http://www.softel.co.jp/blogs/tech/archives/3481>

<http://aws.amazon.com/jp/s3/>





候補③

◆レンタルサーバー

一般によく利用されている構築方法です。

ホスティングサービス提供者によって価格や利用できるサービスが異なります。

無料のレンタルサーバーもありますが、広告等、入るものが多いです。

※以下、一例です。

・さくらインターネット

<http://www.sakura.ne.jp/rentalserver/lite/>



・ServerQueen

<http://www.serverqueen.jp/super/index.html>





候補④

◆Googleサイト（Google Apps）

Googleのサイト作成オンラインアプリケーションを利用します。

テンプレート上の領域にコンテンツをはめ込んでいくだけで、デザイン作成から公開までこれ一つで可能です。

他のGoogleサービスやツール(アクセス解析等)との連携もスムーズに可能になります。

ただ、独自のHTMLをアップロードすることはできないため、決められた制限の中での作成になります。

※参考サイト

<http://www.google.com/sites/help/intl/ja/overview.html>

<https://sites.google.com/>





サービス対比図

サービス	費用	利点	難点
Dropbox +ホスティングサービス利用 ▪ site44 ▪ Pancake.io など	無料枠で可能	・アカウントを作成するだけで誰でもすぐに利用できる。 ・細かい設定は必要がなく直観的に使用できる。(指定されたフォルダにファイルを配置するだけ)	・本来はストレージサービスである。(DropBoxはホスティング用ではない) ・転送容量(ユーザーからのアクセス容量)に制限がある。(それ故、画像を多用したサイトや大規模なサイトは不向き) ・転送容量オーバー時はサイトが停止。
Amazon S3	無料 ※キャンペーンで12か月間	・クラウドサービスの様々な機能を利用できる。 ・一つでホスティングサービスも兼ねている。 ・大規模なサイト構築も可能。	・本来はストレージサービスである。 ・アカウント作成時にクレジットカードの設定が必要。 ・アクセス数や転送容量により停止することは無いが自動的に課金が発生する。
レンタルサーバー ▪ さくらインターネット ▪ ServerQueen など	必要 約2500円+α	・既存のWEBサイトと同様の構築方法なので動的なサイトへの変更も可能。 ・低価格である。	・最初にまず費用が掛かる。 ・契約手の申し込みが必要。 ・WEB固有の知識が必要。
Google サイト	無料	・Googleのアカウントがあればすぐにサイトの公開ができる。 ・サイトデザインはテンプレートに従って作成できる。 ・GoogleAnalyticsとの連携も容易。	・HTMLの直編集ができない。 ・CSS、JSの編集ができない。



考察

□ 候補①「Dropbox＋ホスティングサービス利用」

Dropbox上に作成されたフォルダを使ってWebサイトをホスティングできるので、アカウントを作成後、作成されたフォルダにHTML一式を配置するだけでサイト構築ができます。ファイル共有もDropboxの機能で簡単にでき、アップロードもローカル上のファイル操作で完結します。

クラウドを利用したお手軽感があり、使用上の制限(ユーザーからのアクセス時の総転送容量や処理スピード)に問題がなければ一番簡単に構築できるのではないのでしょうか。

一番の懸念点は、月間の総転送容量が基準をオーバーすると基準日に到達するまでサイトがストップしてしまうことです。

□ 候補②「Amazon S3」

アカウント登録手続きでクレジットカードの登録が面倒ですが、アカウント登録後は簡単な初期設定を行うだけでサイト構築が可能です。こちらも、候補①と同様、決められた場所にHTML一式を配置するだけになります。1年間の無料枠もあります。

クラウド上の設定が細かくできる為、レンタルサーバーとしての使用にも耐え、候補①と比べてアクセスの多い大規模サイトの構築も可能となりますが、その分、固有の知識が必要となることや、アップロードはFTP等、専用のツールを使用することになるなど、お手軽感は候補①には及びません。また、アクセス数、転送容量により無料枠を超えてもサイト停止はありませんが、自動的に課金が発生するので注意が必要です。

□ 4つの候補以外にも・・・

無料のサイト構築サービスはありますが、デザインは専用のテンプレートの使用になり、HTMLを直に編集できない等、SEO関連、アクセス解析を行おうと思った際には制約が出てきそうです。

